

令和3年8月13日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2207)

営業外収益の発生、営業外費用の発生及び特別損失の減少に関するお知らせ

当社は、令和3年9月期第3四半期連結累計期間（令和2年10月1日～令和3年6月30日）において、下記のとおり営業外収益（持分法による投資利益）の発生、営業外費用（社債利息、為替差損）の発生、及び特別損失（貸倒引当金繰入）が減少することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（持分法による投資利益）の発生及びその内容

当第3四半期連結累計期間（令和2年10月1日～令和3年6月30日）において、主にDigital Finance 事業を行う海外の持分法適用関連会社の業績が堅調に推移したことにより、持分法による投資利益2億61百万円を計上することとなりました。

2. 営業外費用（社債利息、為替差損）の発生及びその内容

(1) 社債利息

当第3四半期連結累計期間（令和2年10月1日～令和3年6月30日）において、子会社のGroup Lease PCLが発行済みの転換社債等により社債利息539百万円を計上することとなりました。

(2) 為替差損

当第3四半期連結累計期間（令和2年10月1日～令和3年6月30日）において、主に為替相場の変動に伴う当社グループの保有する外貨建債権債務の簿価と、期末為替レートによる評価額との差により、為替差損145百万円を計上することとなりました。

3. 特別損失（貸倒引当金繰入）の減少及びその内容

第2四半期連結累計期間（令和2年10月1日～令和3年3月31日）において、Digital Finance 事業を行う当社連結子会社（GL Finance PLC）の取引先に対する前渡金等の債権について、コロナ禍での営業状況等に鑑み、貸倒引当金47百万円を繰り入れ特別損失に計上しておりましたが、第3四半期連結累計期間（令和2年10月1日～令和3年6月30日）において為替相場の変動に伴い外貨建債権評価額が減少したことにより、貸倒引当金も減少することとなり、26百万円の特別損失となりました。

4. 今後の見通し

上記につきましては、令和3年8月13日付「令和3年9月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以 上